

グローバル人材育成推進事業 審査結果表

大 学 名	武蔵野美術大学
申 請 区 分	タイプB
〔評価コメント〕	
<p>本構想は美術家・デザイナー育成という特色ある領域で、作品を外国語（英語）で説明することができるグローバル人材の教育体制を確立するというテーマを扱ったプログラムであり、美術大学の学生教育の国際化を目的とした意欲的な取り組みであり、高く評価できる。このような人材育成領域においてグローバル人材育成を支援することは日本文化・芸術の存在意義を世界に発信するためにも意義深い。</p> <p>しかしながら、カリキュラムの面では、学生の英語力を高めるための具体的方策が不透明であるので改善が望まれる。また、学生が修得すべき具体的能力が若干羅列的であり、重点項目の明確化が望まれる。更に、特殊性の高い専門学部における「教育課程の国際通用性」をもう少し具体的に検討する必要がある。留学の方法においても、パートナー校の選定やそこにおける推奨すべき活動等において更なる検討が望まれる。</p> <p>最後に、今回「グローバル人材育成推進事業」に採択された貴学におかれては、20年、30年後の「日本」を見据え、国際社会に積極的に関与し貢献するとともに、日本がより豊かで強く、かつ様々な価値観を大切にする国になるための礎となる「グローバル人材」の育成に中心となって取り組む拠点大学であるということの意義とその責任と期待の重さを認識されるとともに、大学として構想内容の実現に向け真摯に取り組まれることを強く要請する。</p>	